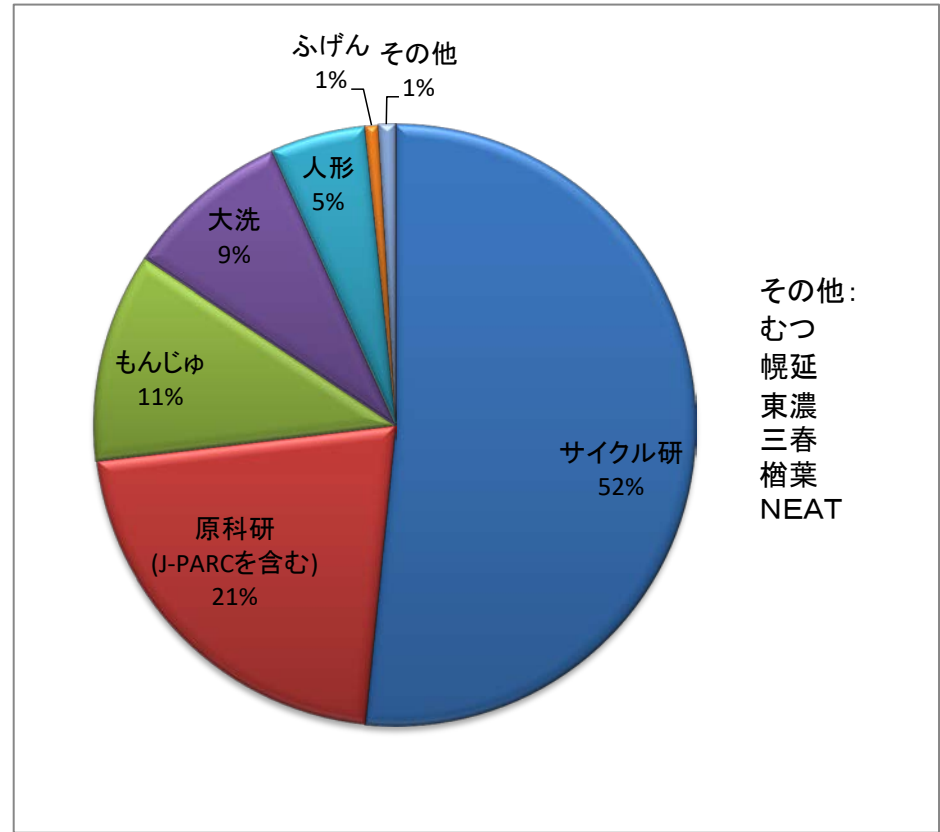
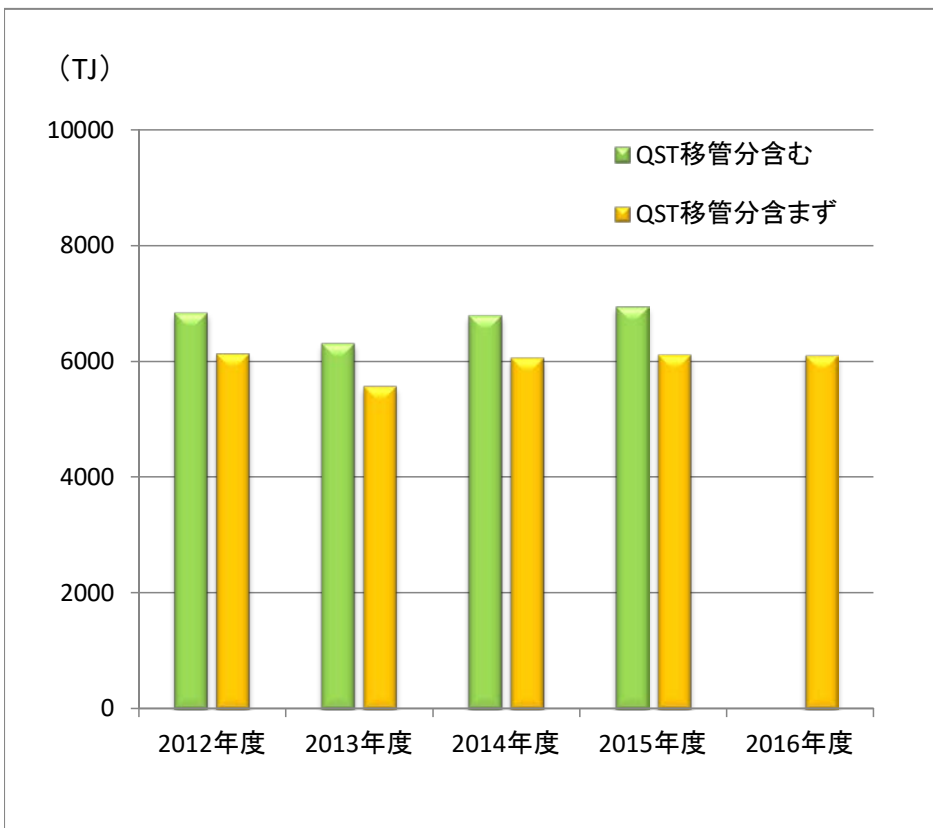


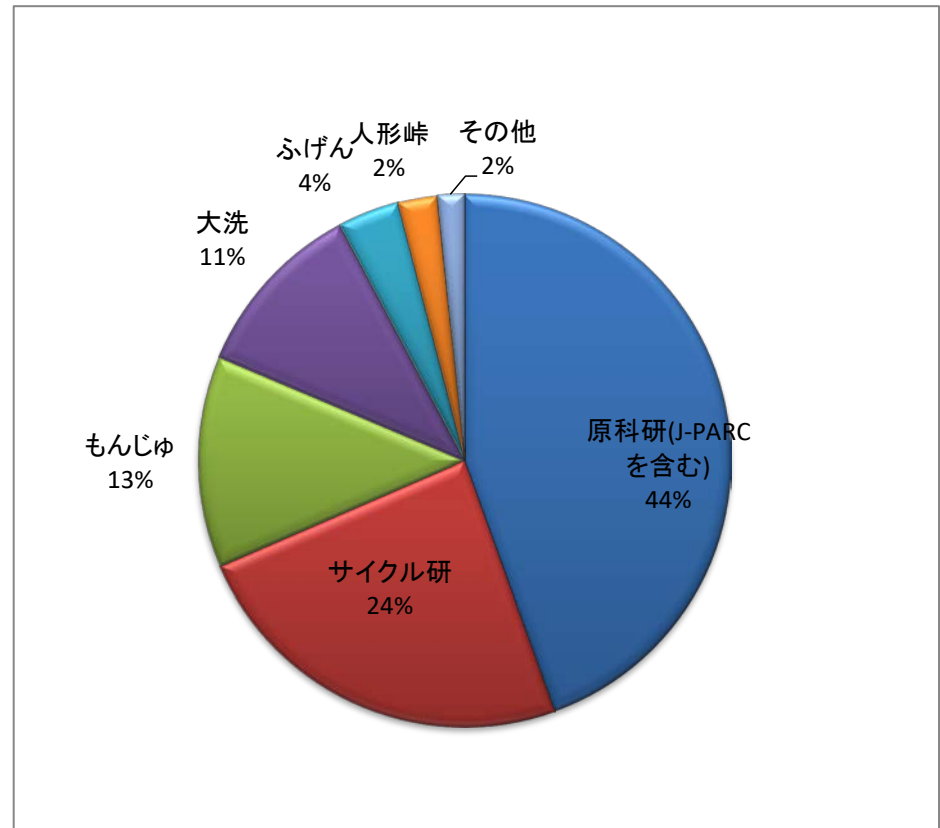
2016年度電気使用量拠点別割合



2016年度化石燃料使用量拠点別割合



総エネルギー投入量の推移



2016年度総エネルギー投入量拠点別割合

エネルギー消費原単位の年度推移

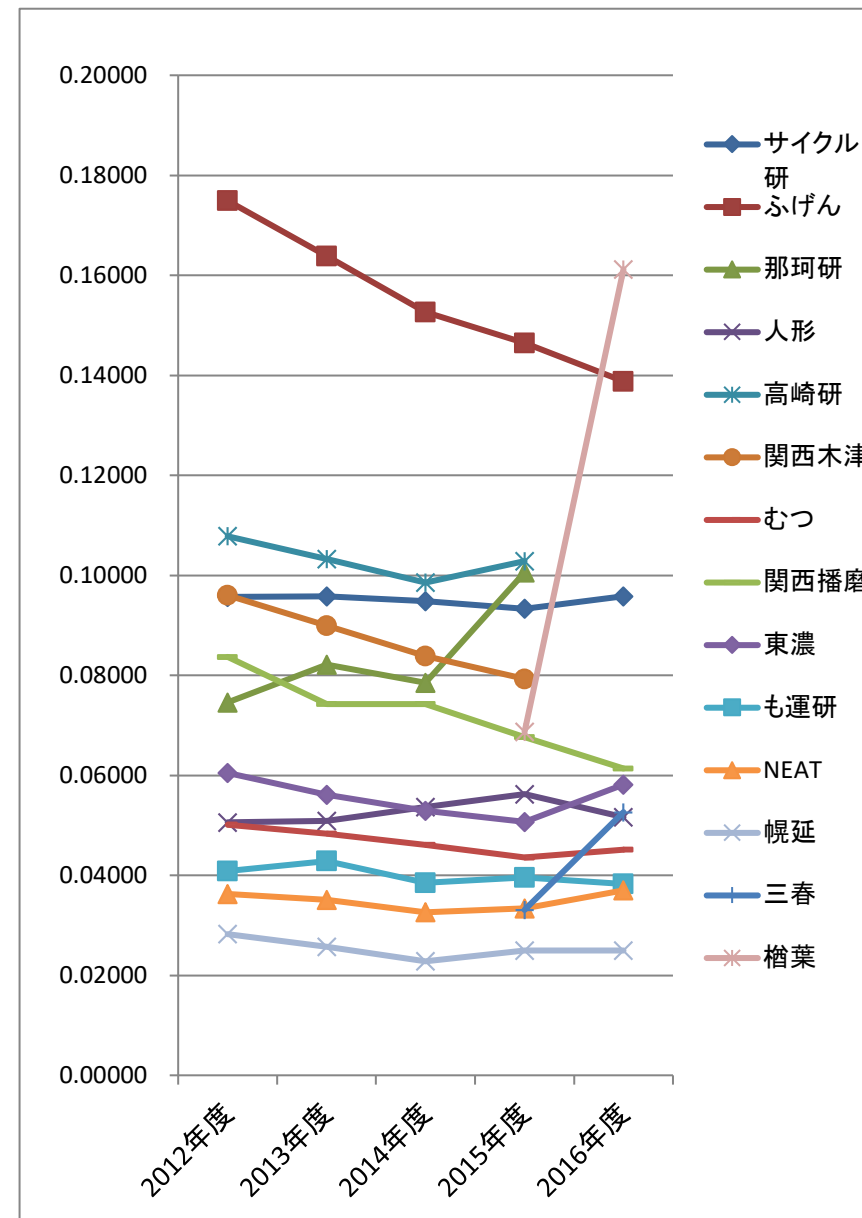
表3 エネルギー消費原単位の年度推移

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
1	サイクル研	エネルギー使用量/ 床面積	0.09565	0.09579	0.09486	0.09330	0.09581
	ふげん		0.1749	0.1638	0.1526	0.1465	0.1388
	那珂		0.07458	0.08217	0.07848	0.1006	—
	人形		0.05060	0.05090	0.05370	0.05624	0.05168
	高崎		0.1078	0.1033	0.09854	0.1028	—
	関西木津		0.09600	0.08994	0.08387	0.07929	—
	むつ		0.05011	0.04832	0.04608	0.04357	0.04509
	関西播磨		0.08368	0.07421	0.07421	0.06759	0.06136
	東濃		0.06047	0.05606	0.05289	0.05069	0.05809
	も運研		0.04082	0.04284	0.03847	0.03962	0.03826
	NEAT		0.03622	0.03508	0.03260	0.03337	0.03699
	幌延		0.02823	0.02575	0.02280	0.02498	0.02498
	三春		—	—	—	0.03308	0.05263
	檜葉		—	—	—	0.06866	0.1612
小計	—	0.09074	0.09067	0.08859	0.09049	0.08938	
2	原科研(J-PARC含む)	エネルギー使用量/ (床面積×係数)	0.1669	0.1672	0.1752	0.1561	0.1574
3	六ヶ所	エネルギー使用量/ (床面積×係数)	0.1825	0.1866	0.3027	0.6112	—
4	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量	1.040	0.9890	0.9881	1.014	1.007
5	大洗	エネルギー使用量/ 時間	1.146	1.137	1.109	1.091	1.070
6	敦賀	エネルギー使用量/ 床面積	0.06775	0.05879	0.05319	0.04787	0.04339
	本部		0.03301	0.03442	0.03487	0.01858	0.01982
	東京		0.03011	0.02926	0.03018	0.02698	0.02469
	柏		0.05246	0.05022	0.04464	0.05007	0.05017
	いわき		—	—	—	0.02113	0.02163
	福島		0.02472	0.03970	0.03131	—	—
小計	—	0.04141	0.04095	0.03896	0.02513	0.02488	

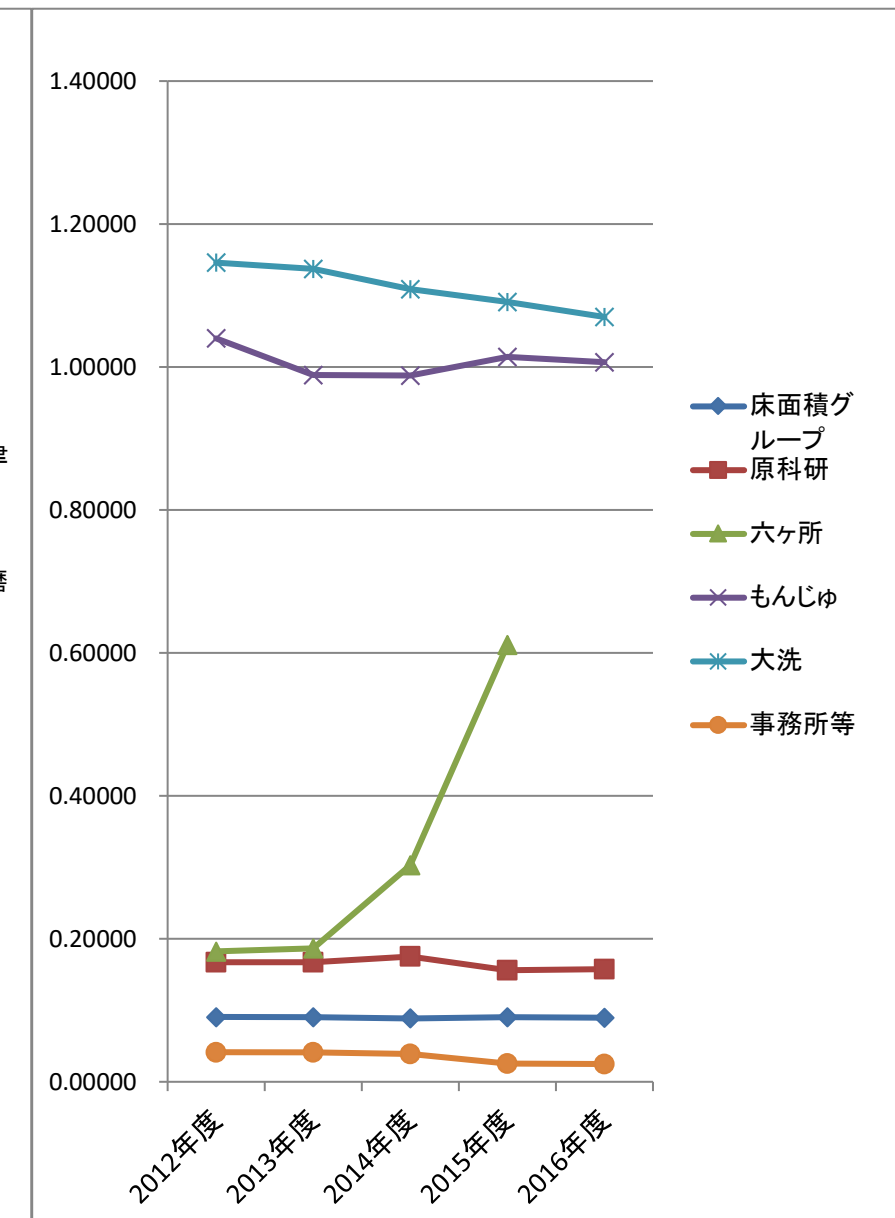
機構全体の原単位の対前年度比(%)	99.4	102.5	99.7	99.7
機構の5年度間平均原単位変化=100.3				

※原子力機構においては、それぞれの拠点の施設・設備等の特色に応じた原単位の設定を行っています。事務所的な施設や研究施設などの施設が多数混在する拠点については「床面積」を分母の「エネルギーと密接な関係を持つ値」としてしています。

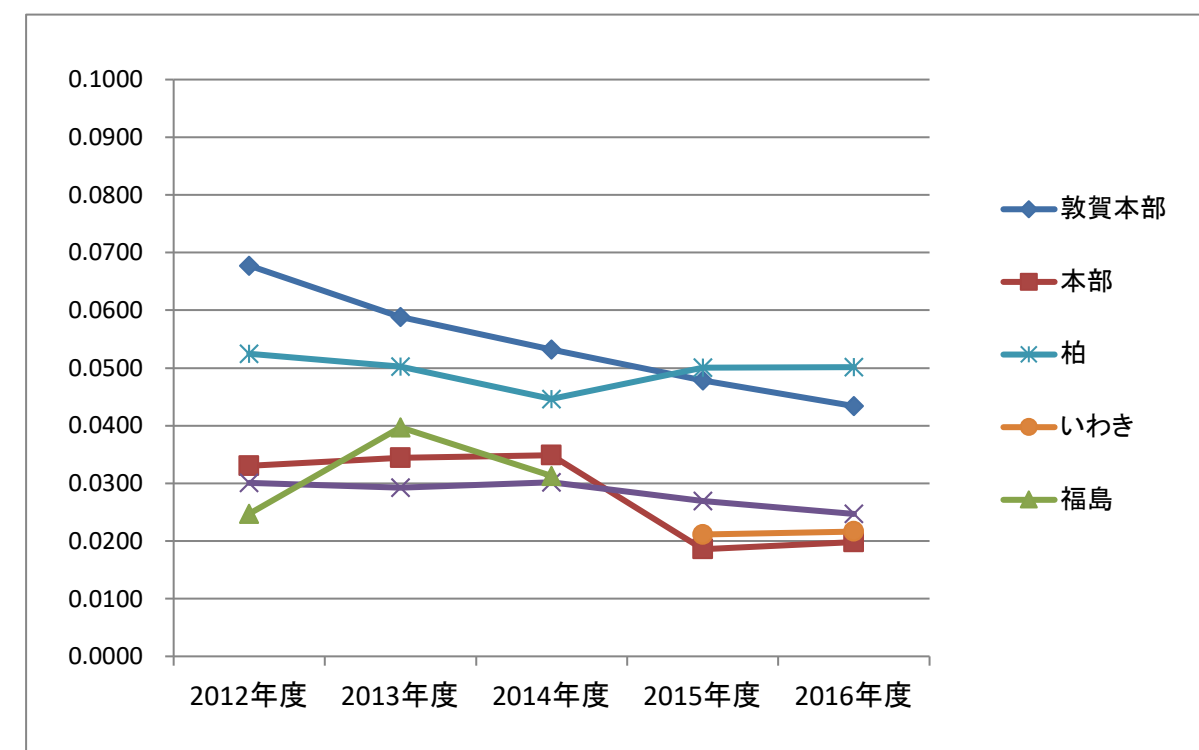
床面積グループ(1)の原単位の年度推移

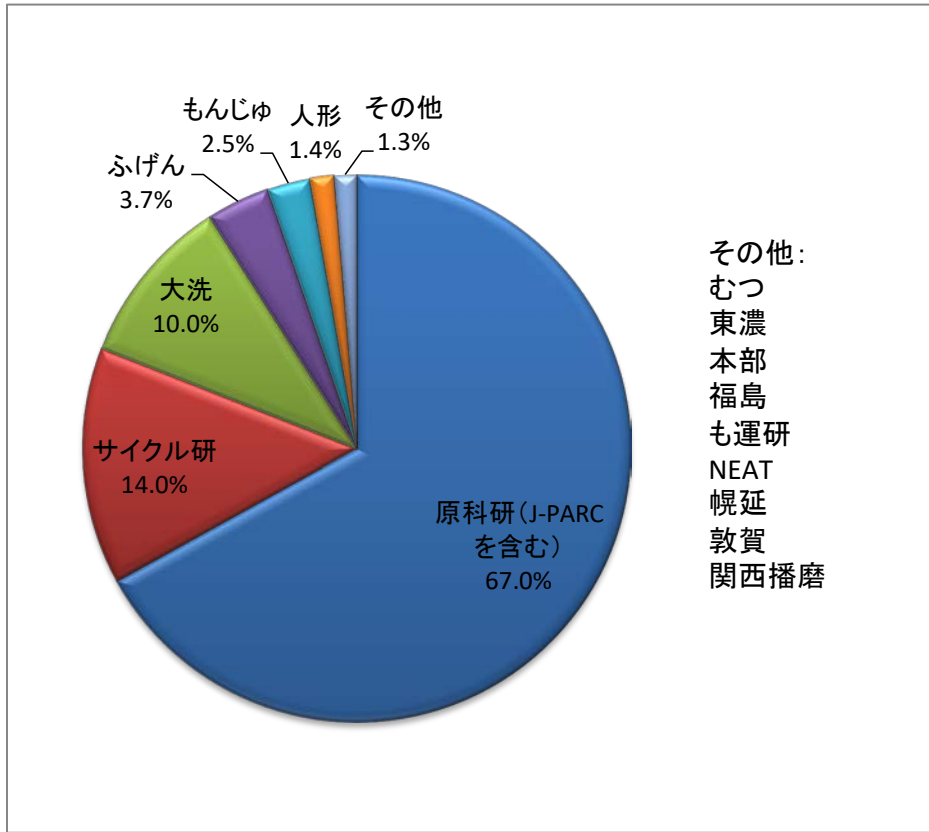


原単位の算出方法グループ毎の年度推移

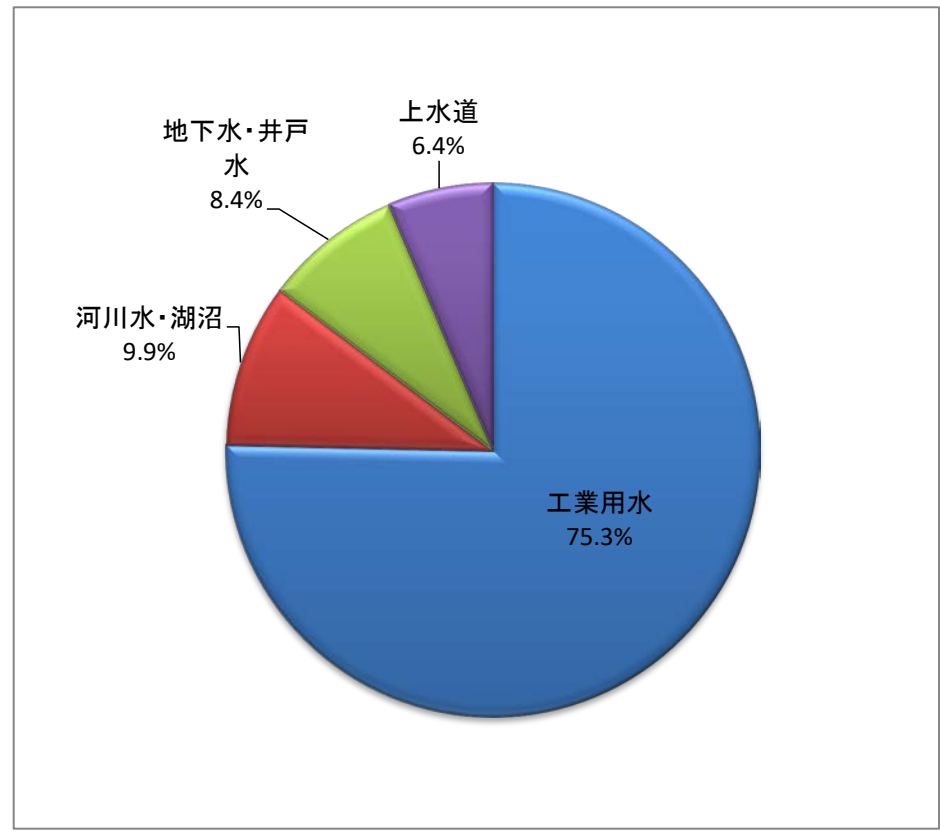


事務所グループ(6)の原単位の年度推移

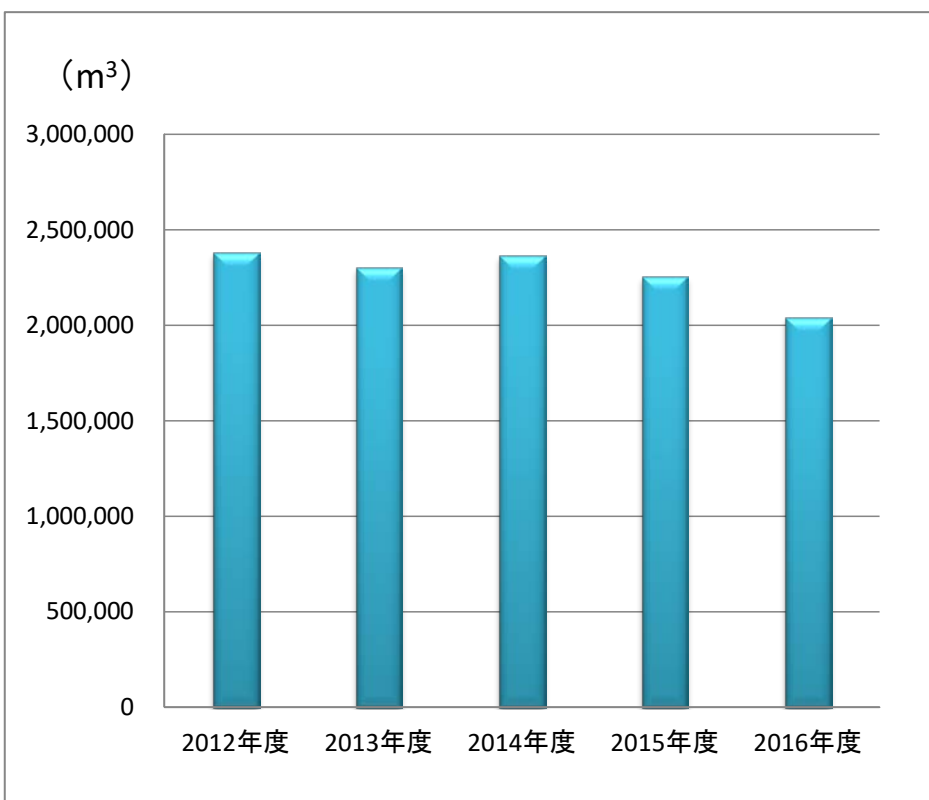




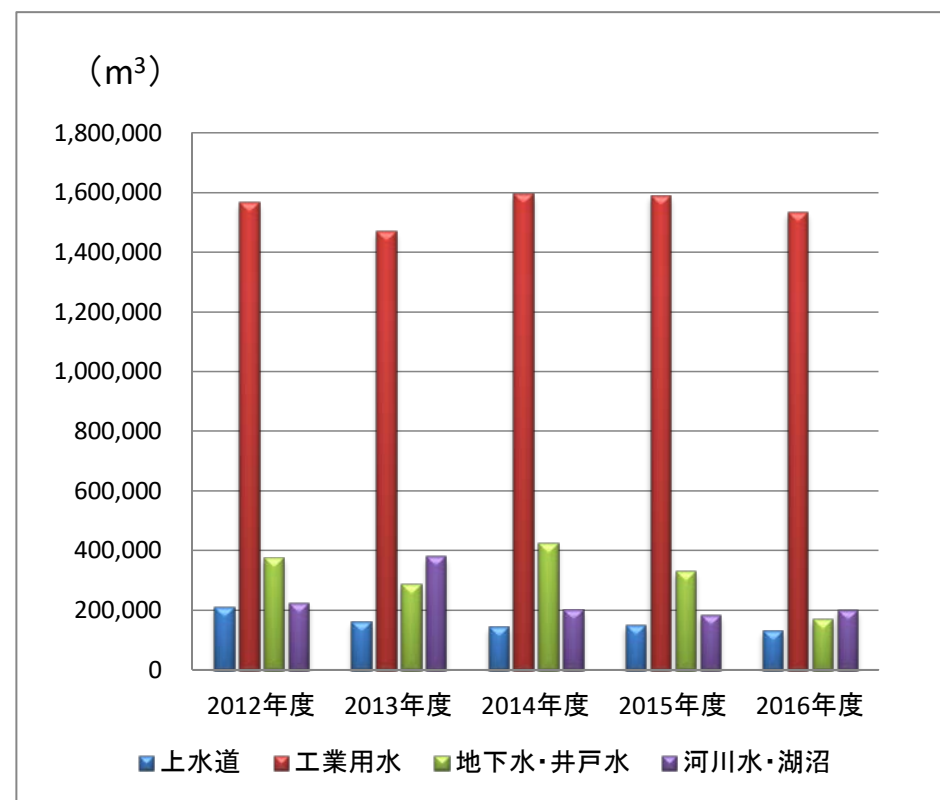
2016年度水資源投入量拠点別割合



2016年度水資源投入量種類別割合



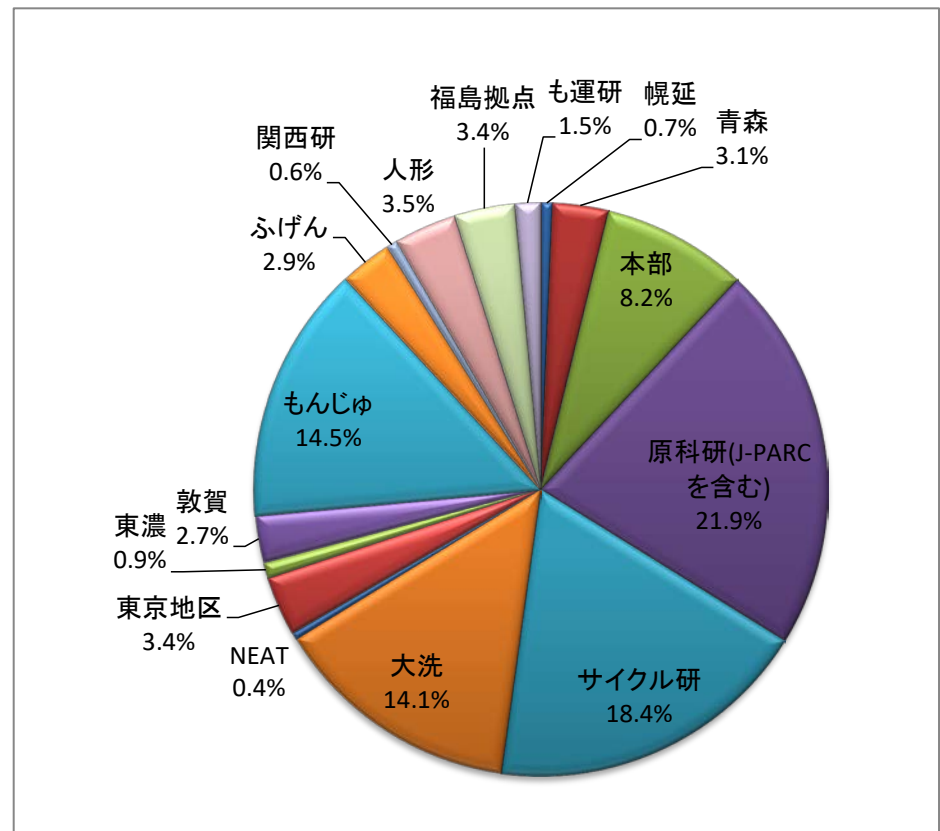
水投入量の年度推移



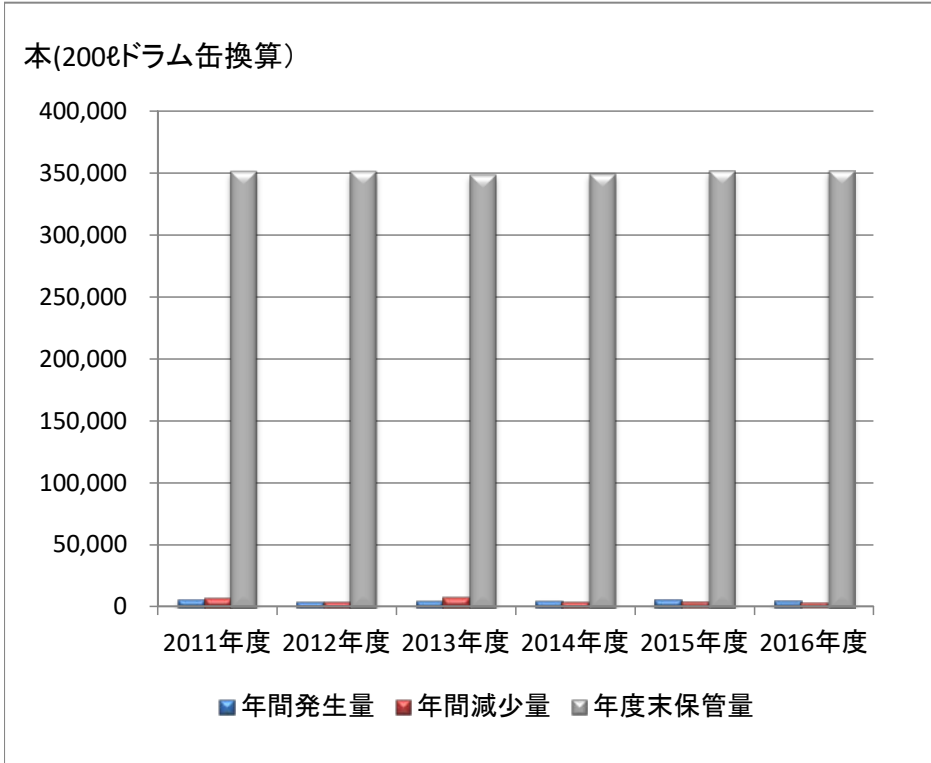
水投入量の内訳



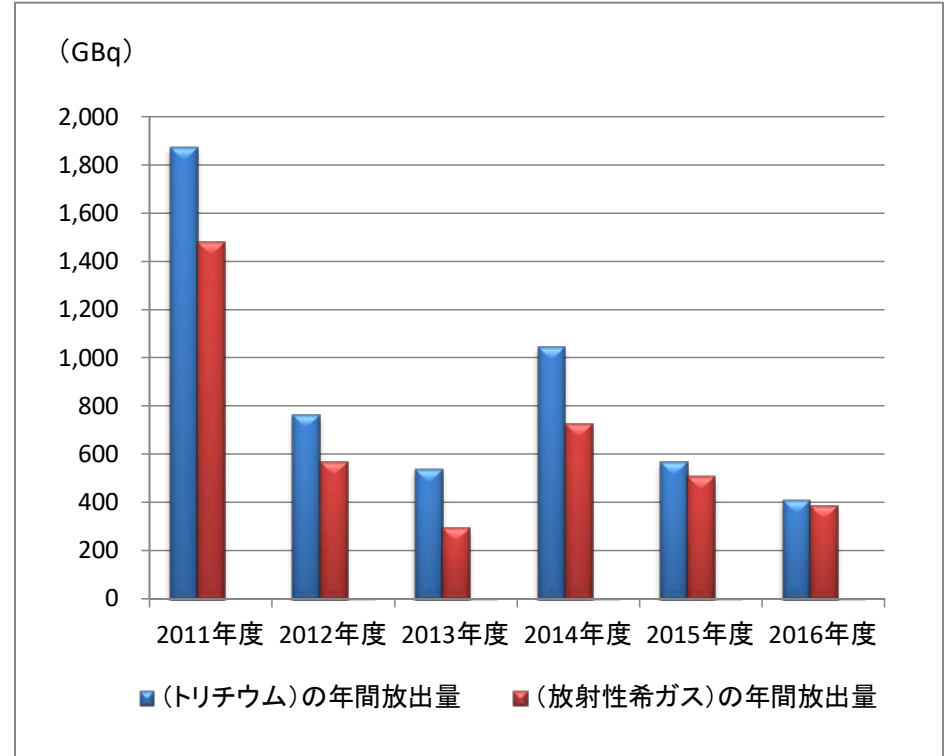
コピー用紙投入量の年度推移



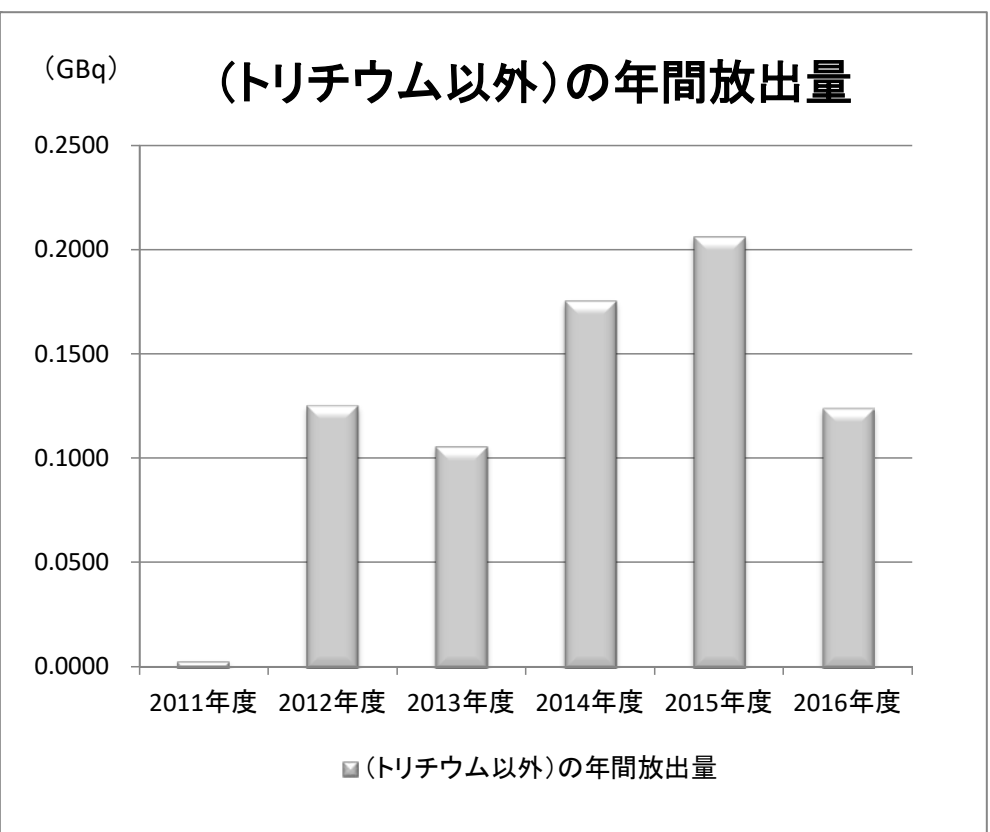
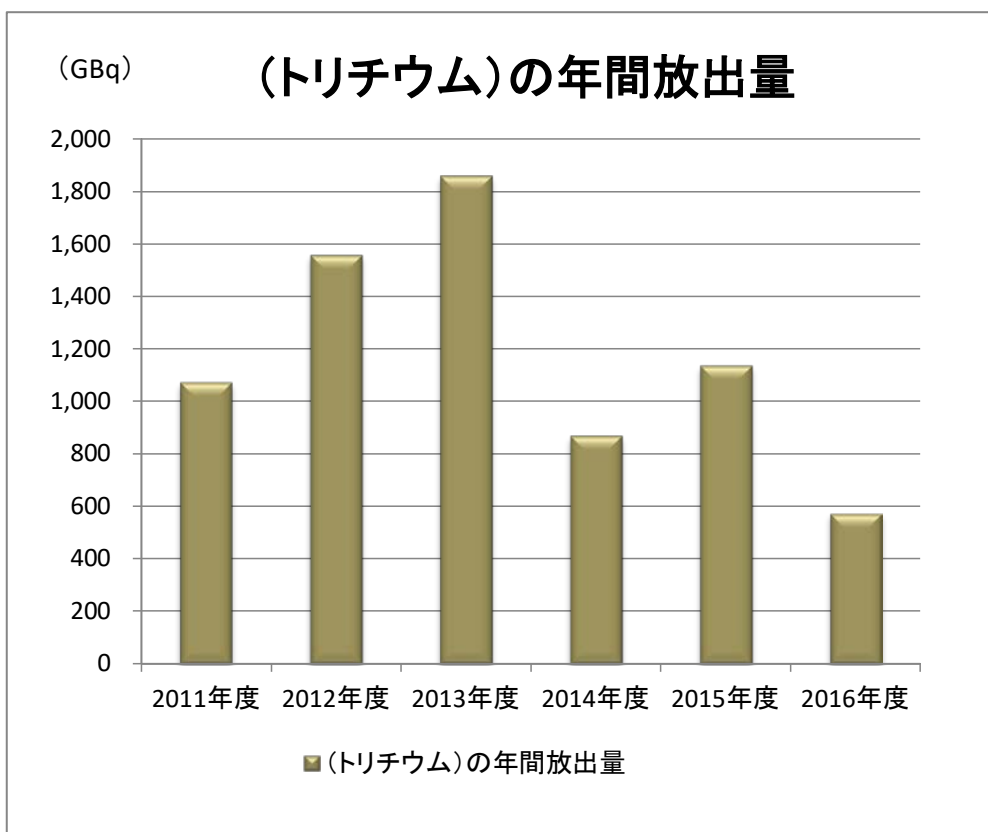
2016年度コピー用紙投入量拠点別割合



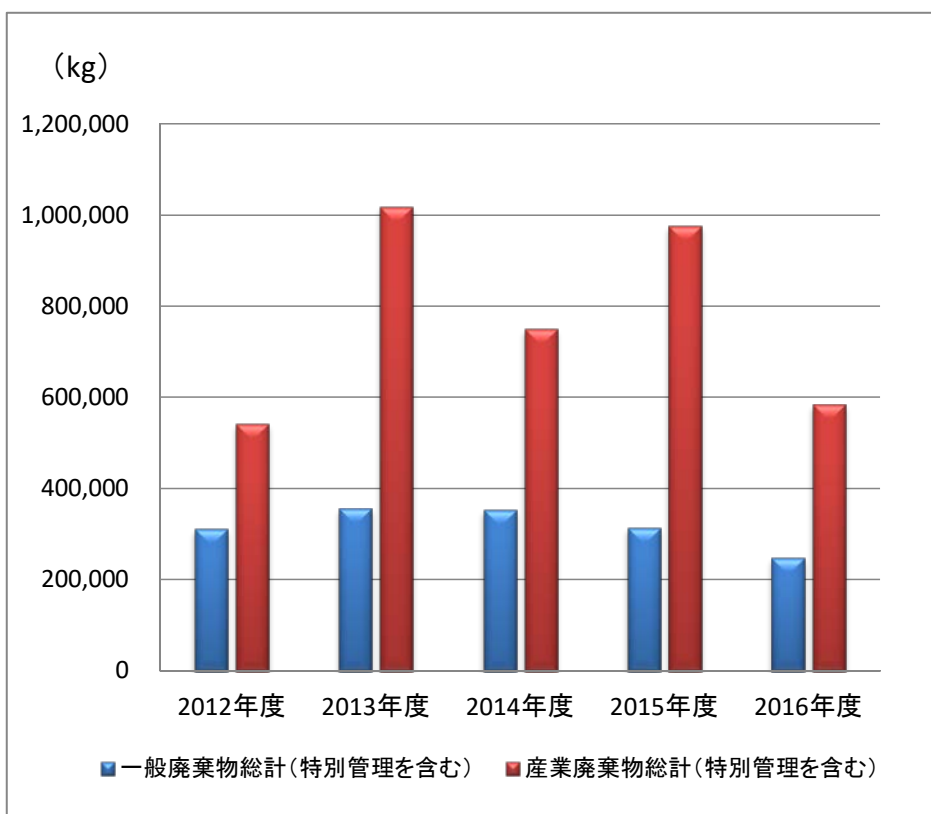
放射性固体廃棄物年度推移



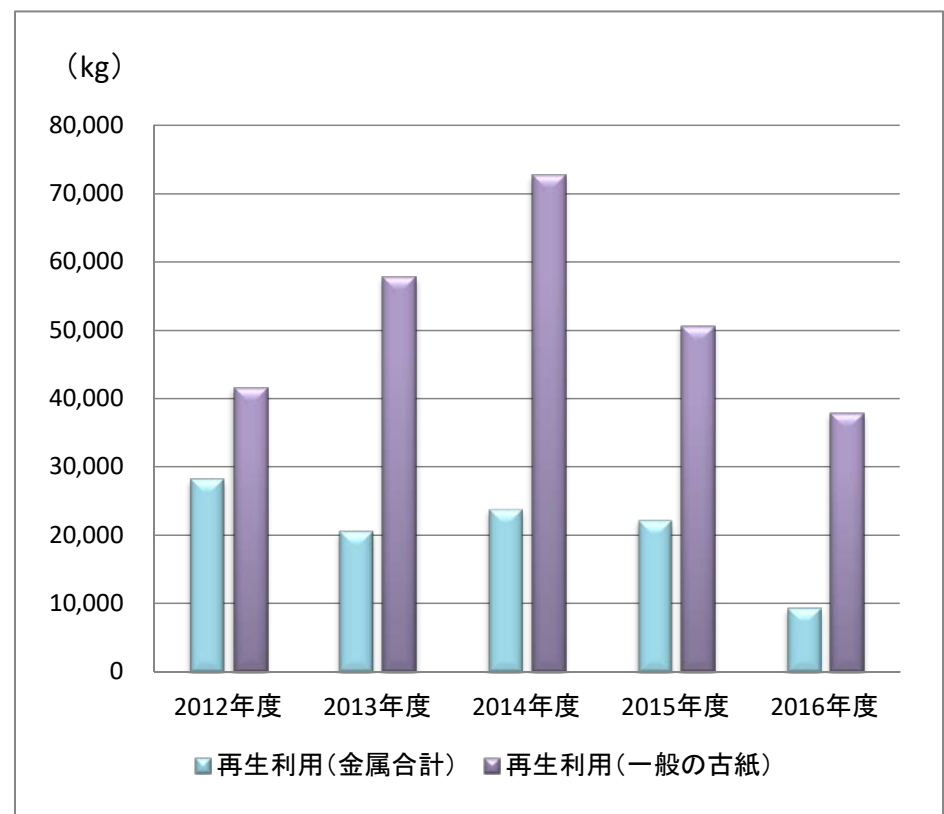
放射性気体廃棄物放出量年度推移



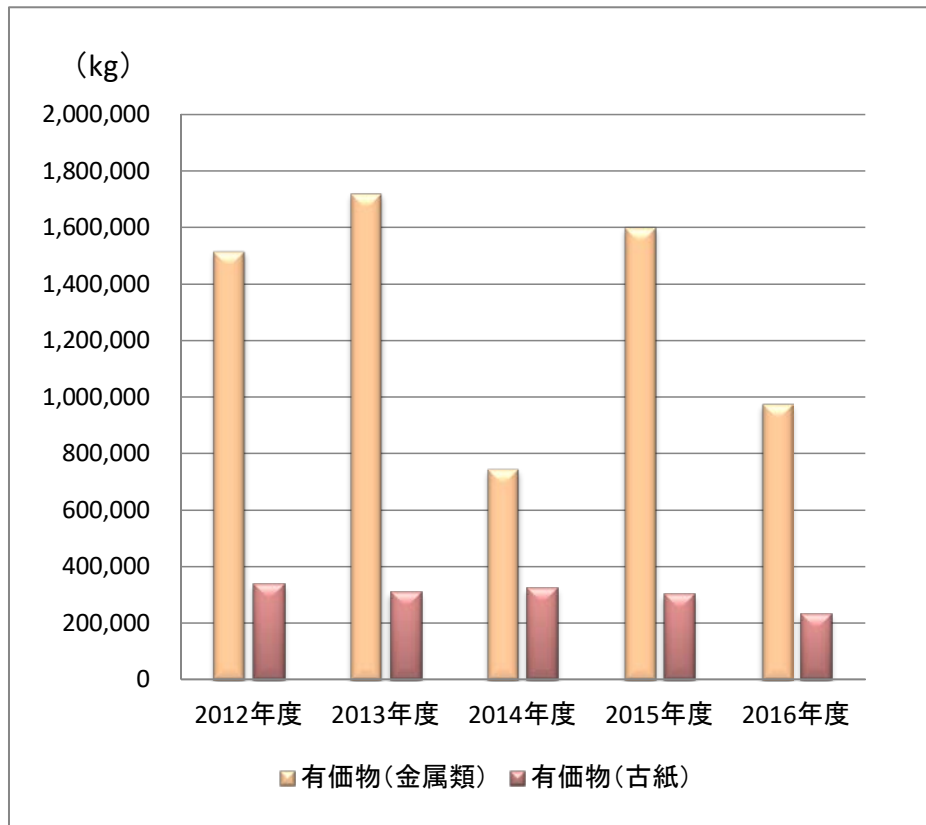
放射性液体廃棄物年度推移



一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量の年度推移



金属と古紙の再生利用量の年度推移



有価物(金属類と古紙)の払い出し量の年度推移

平成28年度環境目標の結果と評価について

環境目標	環境目標項目	目標に対するやるべき（取り組むべき）実施内容（計画内容）	平成28年度の実施結果	各実施結果が妥当だったかどうか（結果の分析）	評価	今後の方策
省エネルギーの推進	【数値目標あり】 平成24年度を開始年度とし平成28年度末に、エネルギー消費原単位を年平均1%以上削減、または電気需要平準化評価原単位を、平成26年度を開始年度とし、平成28年度末に年平均1%以上削減	各拠点において、電力や化石燃料の使用量の削減及び電気需要平準化のため、以下の施策を計画した ・昼休みや使わない会議室等の照明のこまめな消灯の徹底 ・空調温度の適正設定 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・照明設備のLED化の計画的推進 ・省エネパトロールの実施 ・暖房、融雪設備等の合理的使用 ・設備の定期点検時期を夏・冬のピーク時期に設定 ・夏・冬の一斉休暇期間中の設備機器の運転停止 ・省エネポスターの掲示やイントラへのエネルギー使用量の見える化等の省エネ意識の啓発など	機構全体で省エネルギー推進のため不要な照明や昼休みの消灯、空調温度の適正化に努めた。また省エネ意識の啓発のための各種取り組みを実施した。 目標の5年度間での原単位は年平均100.3%となり、平準化原単位は年平均99.7%のとなり、どちらも目標の99%に届かず。 H28年度の原単位の対前年度比に関しては、99%を下回っていた拠点は人形、ふげん、大洗であり、他の拠点は一部を除きわずかに達成できていない結果となった。	目標は5年度間の対前年度比の平均なので、各年度が目標を下回っていないため目標は未達成。 機構全体に対するエネルギー使用量の割合の高い拠点（特に約70%を占める原科研と核サ研）の結果が全体の結果に支配的であり、使用量の少ない他拠点等はこれを吸収しきれていない。 原単位の設定に関して、例えばJ-PARCの出力上昇効果等が適切に原単位に反映できておらず、サイクル研は床面積で評価しているなど適切な原単位設定になっていない拠点があるため、原単位の設定を改めて各拠点等で、妥当性を含めて見直すべき。	未達成	エネルギー使用量が支配的な拠点の原単位の見直しを検討。エネルギー管理指定工場でない拠点等も今後の見直しを考慮して原単位を検討。エネルギー使用量の削減努力を継続する。
	【以下数値目標なしの目標】	やるべき内容、実施できる取り組み内容 (計画に記載した実施内容)	各取り組み内容を実施できたかどうか。数値的目標等がある場合はその結果。	やるべき内容がどこまでできているか、どのような努力をしたか。できなかった場合の理由と理由の妥当性	結果がそれぞれ妥当かどうか、総合的に評価	
省資源の推進	節水の推進	・節水の推進啓発・啓蒙 ・節水機器の導入 ・漏水の早期発見と補修	水投入量のH28の対前年度比：96.1% 2012年度からの各年度毎の対前年度比の平均：100.3%  ・各拠点で節水ポスター掲示、イントラでの呼びかけ等を実施 ・見える化した実績データをイントラに掲載して啓発 ・老朽配管の補修により漏えい防止 ・節水型機器の導入とバルブの絞り	H28年度の対前年度比で見た成果は例年より良好  ・啓発活動は各拠点で実施している（良好） ・節水機器導入を実施（良好）	達成	投入資源の削減努力をダイエットプロジェクトと併せて工夫して継続する。
	コピー用紙の削減	・コピー用紙削減の啓発・啓蒙 ・紙資料不使用会議の奨励と実施 ・裏紙使用の奨励と推進 ・両面印刷や2アップ印刷の励行 ・コピー機削減等のファシリテイダイエットの推進	H28の対前年度比：97.4% 2012年度からの各年度毎の対前年度比の平均：101.3%  ・各拠点でコピー機前のポスター掲示、イントラでの呼びかけを実施 ・裏紙使用や両面印刷、2アップ印刷等は各拠点で実施済み ・ダイエットブログで具体例を掲載 ・見える化されたデータもイントラに掲載 ・ペーパーレス会議を拠点、本部で導入（既に114件導入済み） ・コピー機8台削減済	H28の対前年度比で見た成果は例年より良好  ・啓発活動は各拠点で実施している（良好） ・裏紙使用や両面印刷等は常識となっている（良好） ・ペーパーダイエットやペーパーレス会議で結果が出ている（良好）	達成	

環境目標	環境目標項目	目標に対するやるべき（取り組むべき）実施内容（計画内容）	平成28年度の実施結果	各実施結果が妥当だったかどうか（結果の分析）	評価	今後の方策
廃棄物の低減	古紙リサイクルを推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用後コピー用紙の分別回収</li> <li>・ 古紙回収の啓発</li> <li>・ 紙資源回収実績の見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コピー用紙回収箱の設置</li> <li>・ 新聞、雑誌、段ボール等ごとの分別回収</li> <li>・ 古紙回収のポスター掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コピー用紙の回収箱は各課室単位で設置し、広く浸透（良好）</li> <li>・ 拠点ごとに月ごとの分別回収を継続実施している（良好）</li> <li>・ 啓発活動は各拠点で実施している（良好）</li> </ul>	達成	「古紙は資源」との意識で継続して取り組む
	分別回収を徹底するとともに、有価物を回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別回収箱の設置</li> <li>・ 分別回収の依頼の周知・啓蒙</li> <li>・ 定期的回収と搬出・売却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金属類リサイクル率：90.3%</li> <li>2012年度からの各年度毎の平均：91.6%</li> <li>・ 廃棄物全体の再利用率：64.5%</li> <li>2012年度からの各年度毎の平均：65.2%</li> <li>・ リサイクルに出す金属類の99%は有価物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金属類リサイクル率や廃棄物全体の再利用率は（例年並み）</li> <li>・ 金属類再利用の有価物比はほぼ100%</li> </ul>	達成	更なるリサイクルに向けて努力を継続する。
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各拠点ごとに分別回収箱を設置</li> <li>・ 各拠点でイントラ等に啓発情報等を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拠点、建屋等ごとに分別回収箱を設置し、回収を実施中（良好）</li> <li>・ 拠点における毎月等の定期的分別回収が定着している（良好）</li> </ul>		
放射線廃棄物の低減を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理区域内への不要物品持ち込みの制限、最小限化</li> <li>・ 機器工具等の再使用、合理化推進</li> <li>・ 放射性廃棄物の低減の教育と啓蒙</li> <li>・ クリアランスの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不要物品の持ち込み制限、最小限化の教育は随時作業員等に対し実施</li> <li>・ 約20tをクリアランス物として国の確認を受けた（そのうち約1tのアルミ材を再利用）（人形）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拠点にて放射性廃棄物低減につながる教育と啓蒙活動を実施している（良好）</li> <li>・ クリアランスの各種準備作業と再利用を各拠点で推進した（良好）</li> </ul>	達成	特に固体廃棄物の低減のため、発生量削減と減少努力を継続して実施する。クリアランスを継続して推進する。	
環境保全に関する情報発信の推進	効果的な環境保全に関する情報発信方策の検討と推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イントラ等への環境配慮活動情報の掲載</li> <li>・ 環境レポートの発行</li> <li>・ 環境詳細情報JAEA-Reviewの発行</li> <li>・ 情報のタイムリーな発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部、各拠点でもイントラへの環境配慮活動情報を掲載</li> <li>・ 原子力機構2016の発行（2016.11月）冊子は外部へ約1900部配布済み</li> <li>・ 環境詳細情報JAEA-Reviewの発行（2017.3月）</li> <li>・ JAEAダイエツトプロジェクトのブログでも省エネ情報を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報のイントラへの掲載は随時実施している（良好）</li> <li>・ 環境レポートを発行し、広く一般への公表情報を発信した（良好）</li> <li>・ ダイエツトブログや各拠点で環境配慮情報等のページは各種環境情報や電気使用量等の省エネ情報が見える化されており、わかりやすい（良好）</li> </ul>	達成	更なる効果的な情報発信方法を検討して実施